

倭  
文庫

四十九箱

應樂法々  
國貞画

錦重筆

^ 13  
3836  
22



万真應加具作



上

門 へ13  
3836  
22

倭文庫

四拾九編

上の巻

萬子

急賀化

新川園文

浅の 急の

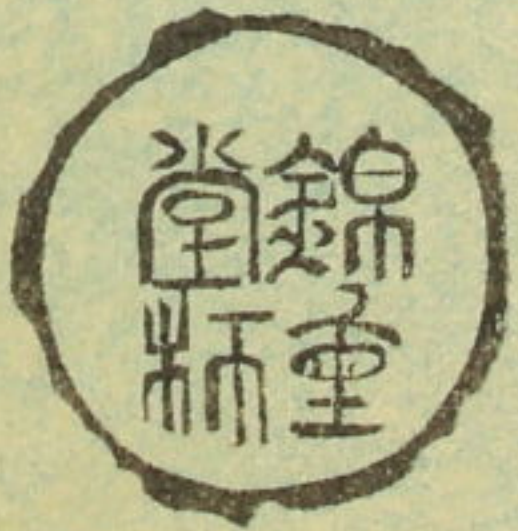
妙もん

三つ

二



廿五  
介題彫安



釋迦八相倭文庫四拾九編叙

夫一切の草木の皆鬼神の村ありて村巷道市山城み

鬼神の村ありて村巷道市山城み

村に依て名をよみ城を名とせればみどり

傷る妻なるは故小大莊嚴經論第三の説を聊茲引

目蓮を曠野の草繫乃比丘に設あまの鐘がわらぬの灸

上臈の蠶道より盤若湯を龍尾の差身乃ほびは食

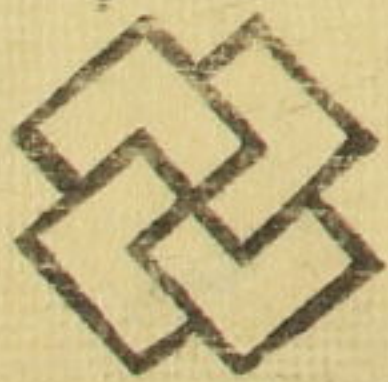
腹立上戸の組合ふらつるをささくは跋難陀あんづるか蛇

和解らんと蛇と知法筆ののころを而巳

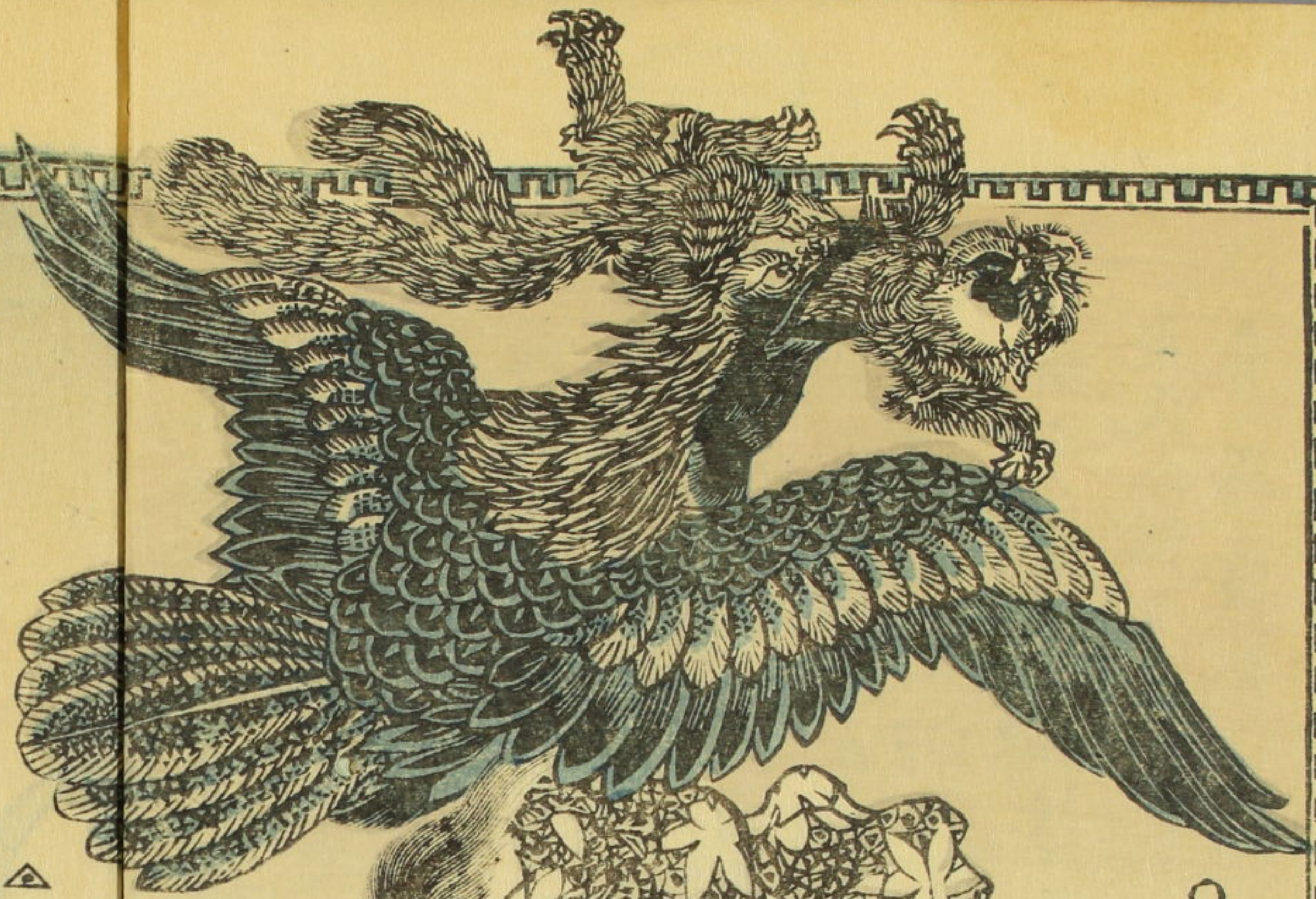
文久二稔壬戌  
青陽設見



万亨亭應心賀誌



倭文庫四十九



○世尊の

前生

靈鷲山の

鷲



○跋難陀

父母の孝養を

尽さざれば故

其功德を以て

今世成道

と遂

あふ

△其時の靈

餘鳥に残て

佛法の

怨敵を

害



刺尼吒王

安息王と闘て

九億の兵を殺せし

罪ふろく地獄に

墮びて馬鳴菩薩の

助を以て大海の

うろ千頭の魚と

あれが

○天より劍降て千頭を斬ふ

復生む此苦患を免んが

為小國夫人の夢

ふ

捷を雅

求むこととて立建え





四十八編... (top text on the right page)

あつち... (middle text on the right page)

かゆゆく... (bottom text on the right page)



あつち... (top text on the left page)

あつち... (bottom text on the left page)









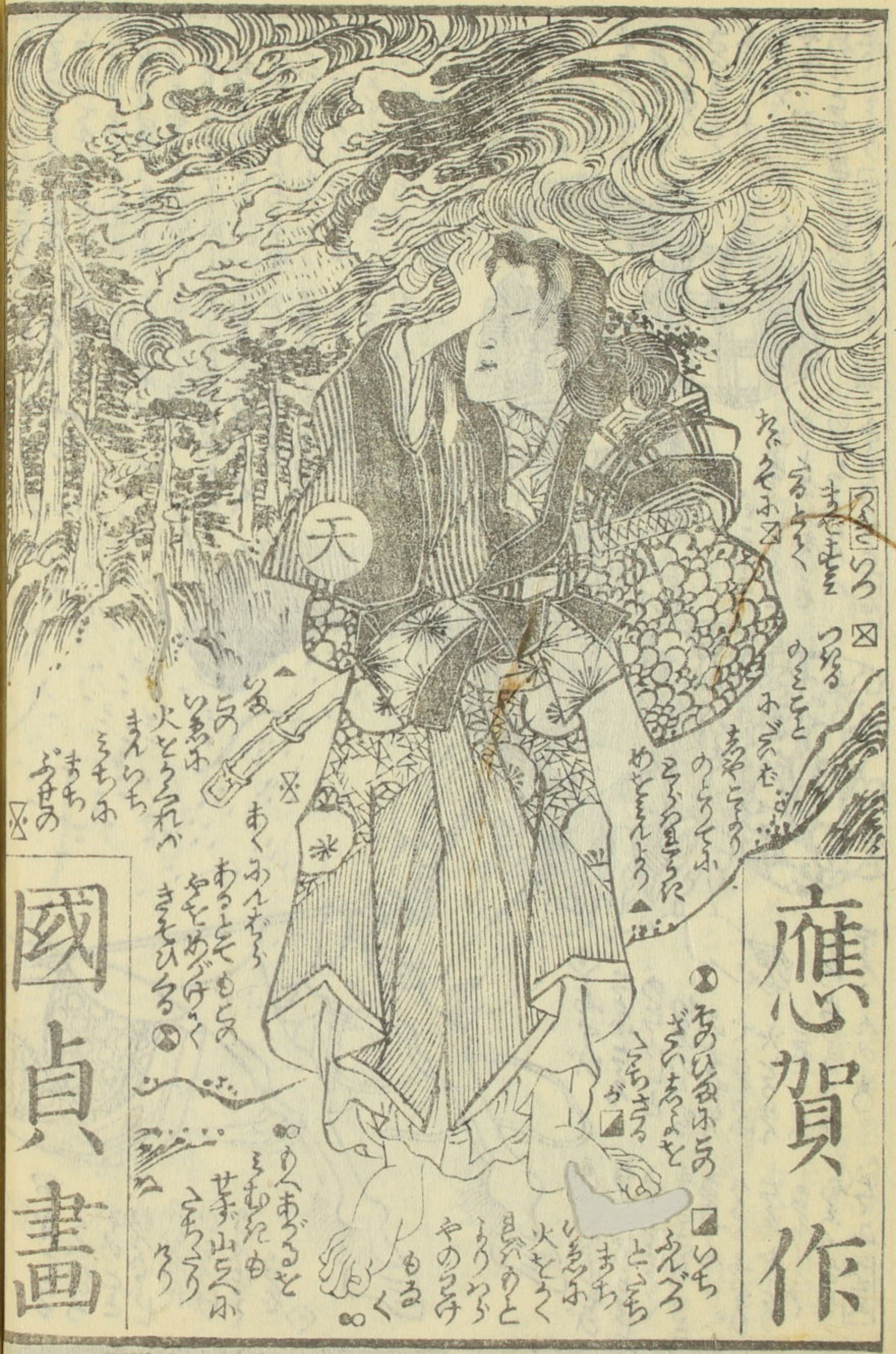






文久二年壬戌春新板目錄

倭文庫出世双六	春遊の將棊双六	男女役替双六	武家奉公出世双六	奥奉公出世双六	子宝延命袋紅摺全冊	重榮御江戸繪圖	大寶御江戸圖
一陽齋豐國	同	同	同	同	同	奉書四枚半續	極上摺奉書六枚半續
畫作	畫作	畫作	畫作	畫作	畫作	畫作	畫作

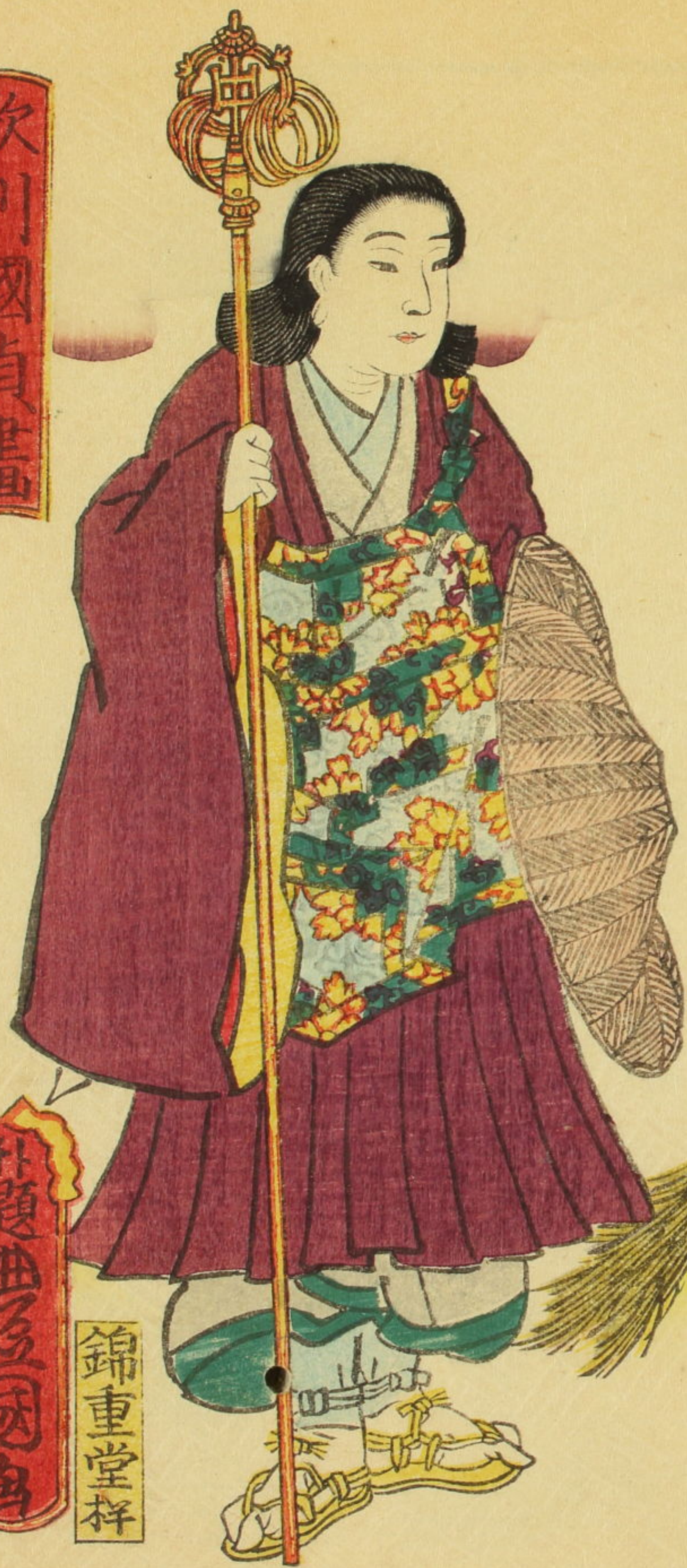


應心賀作

國貞畫

倭文庫四十九

歌川國貞畫



仕題曲三國書

錦重堂梓

倭文庫四拾九編

下

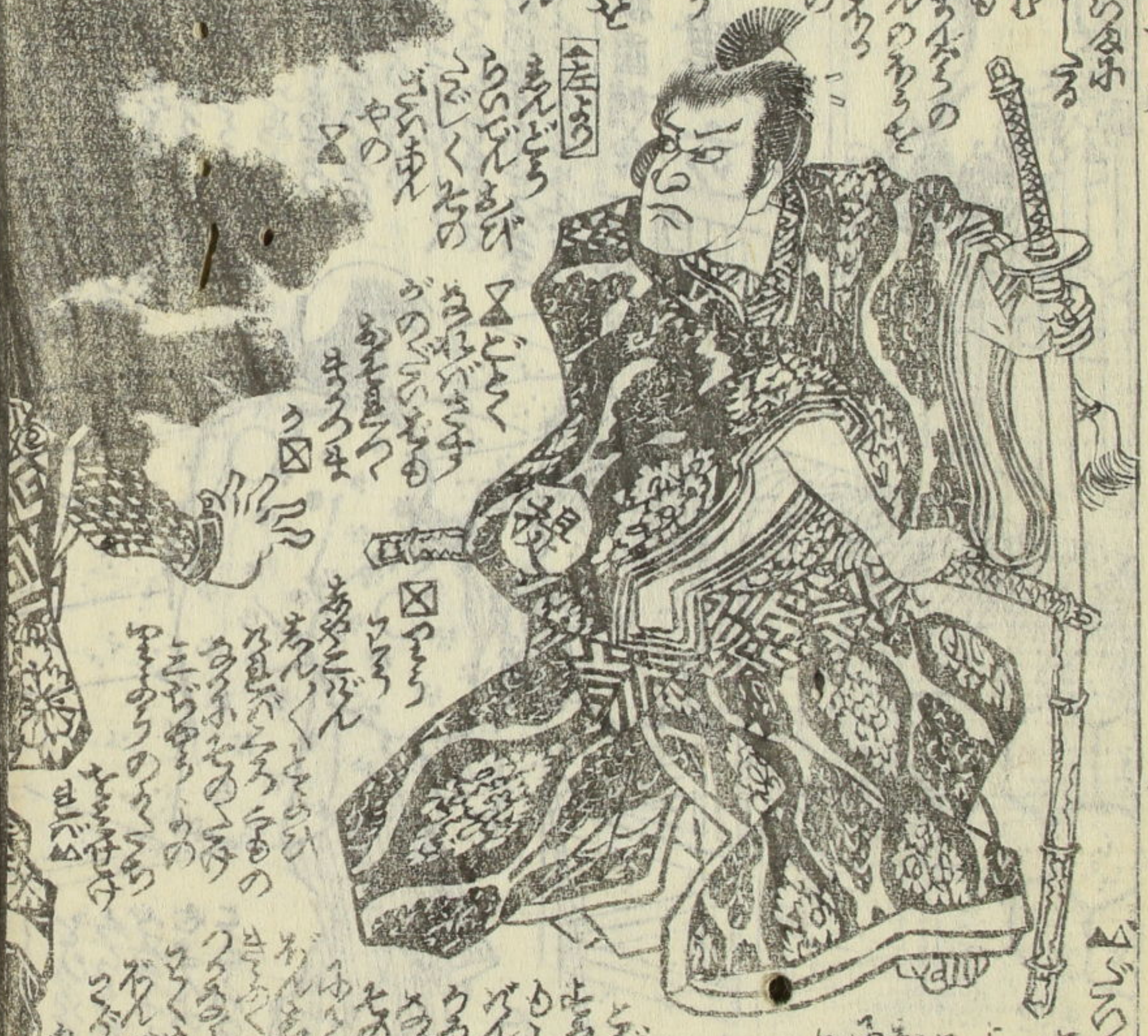








てつぎに... 信濃の国... 武田の国... 武田の国... 武田の国...



武田の国... 武田の国... 武田の国... 武田の国...



武田の国... 武田の国... 武田の国... 武田の国...

武田の国... 武田の国... 武田の国... 武田の国...

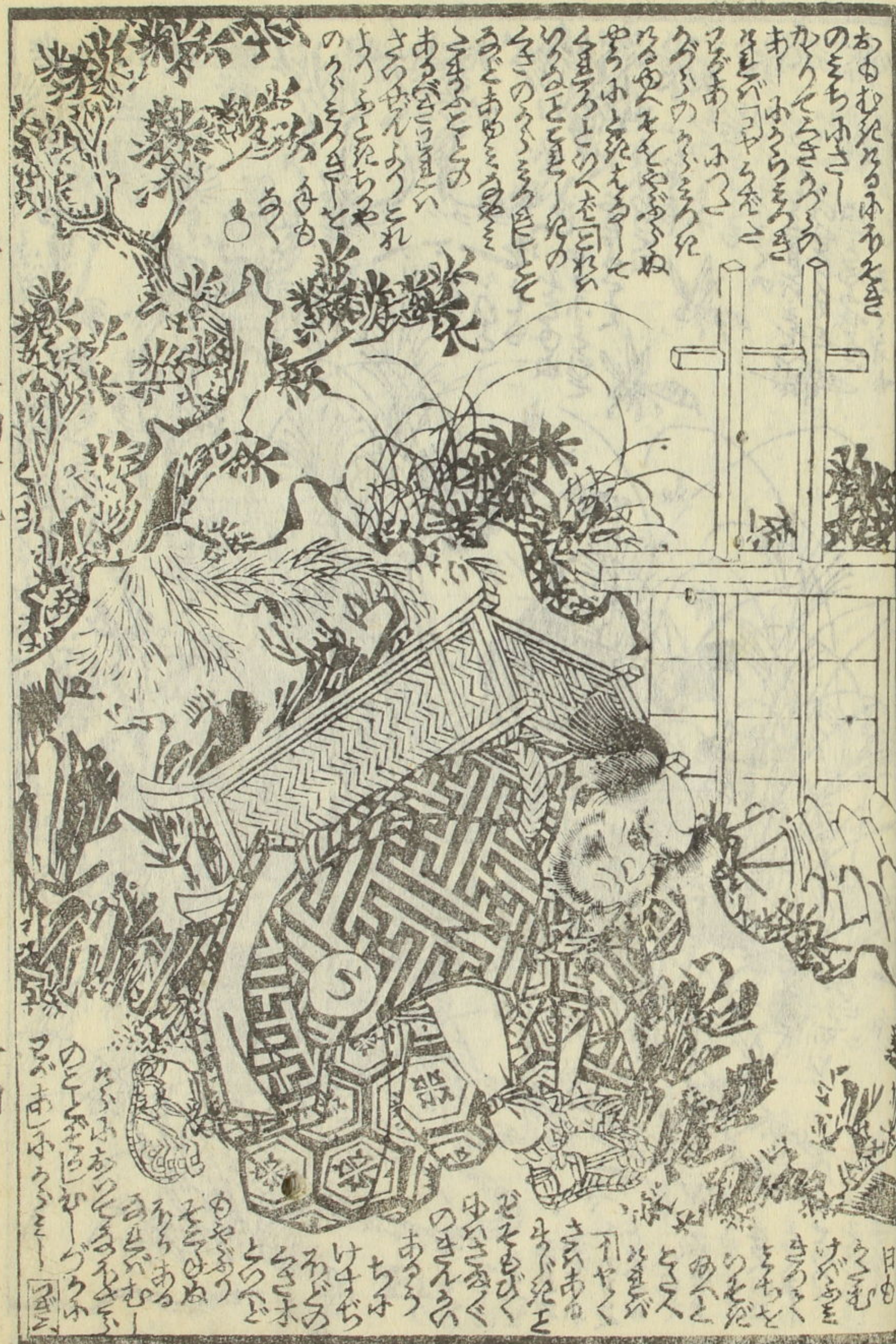
つぎに... 鐘建立

鐘建立



らん... 鐘建立

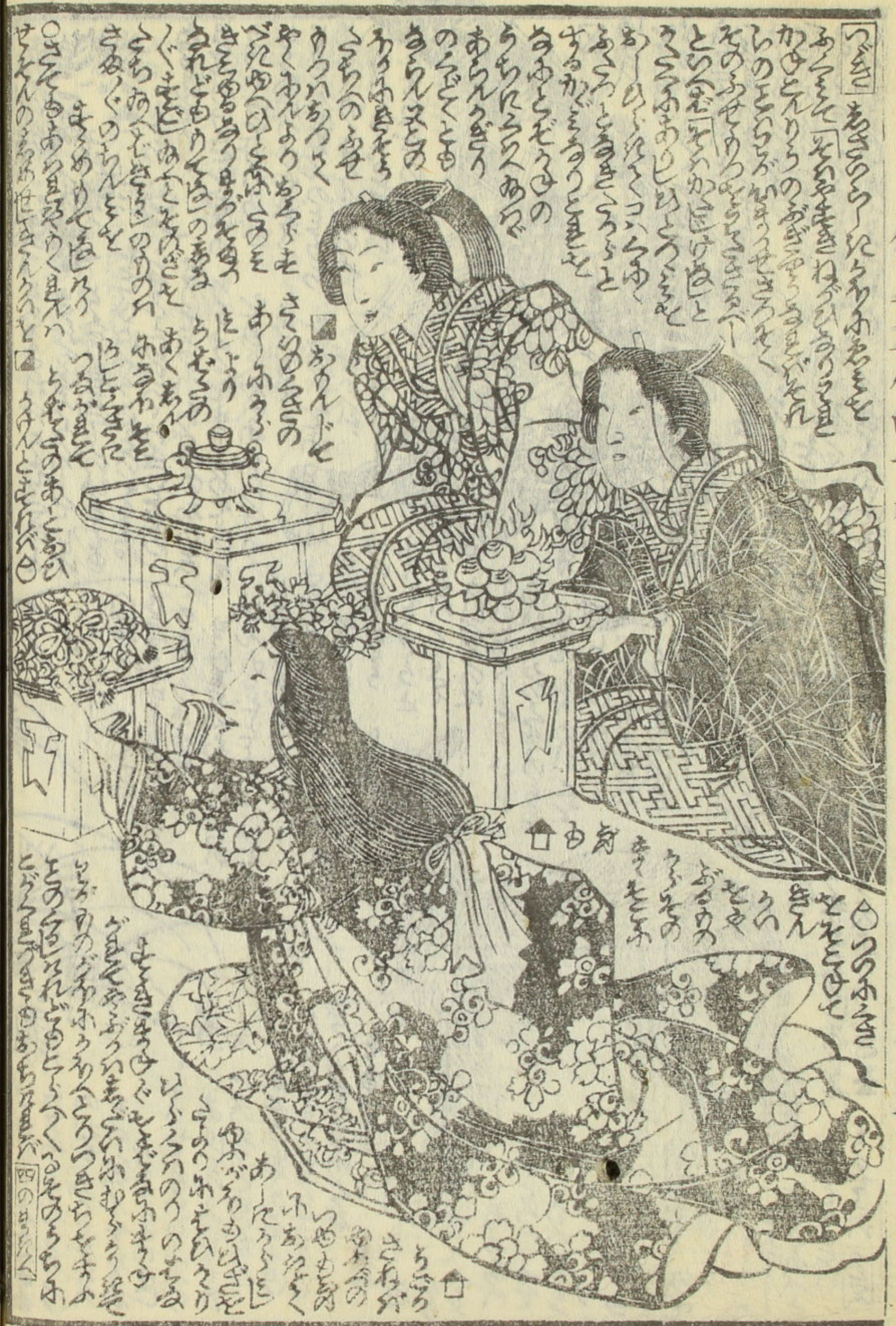
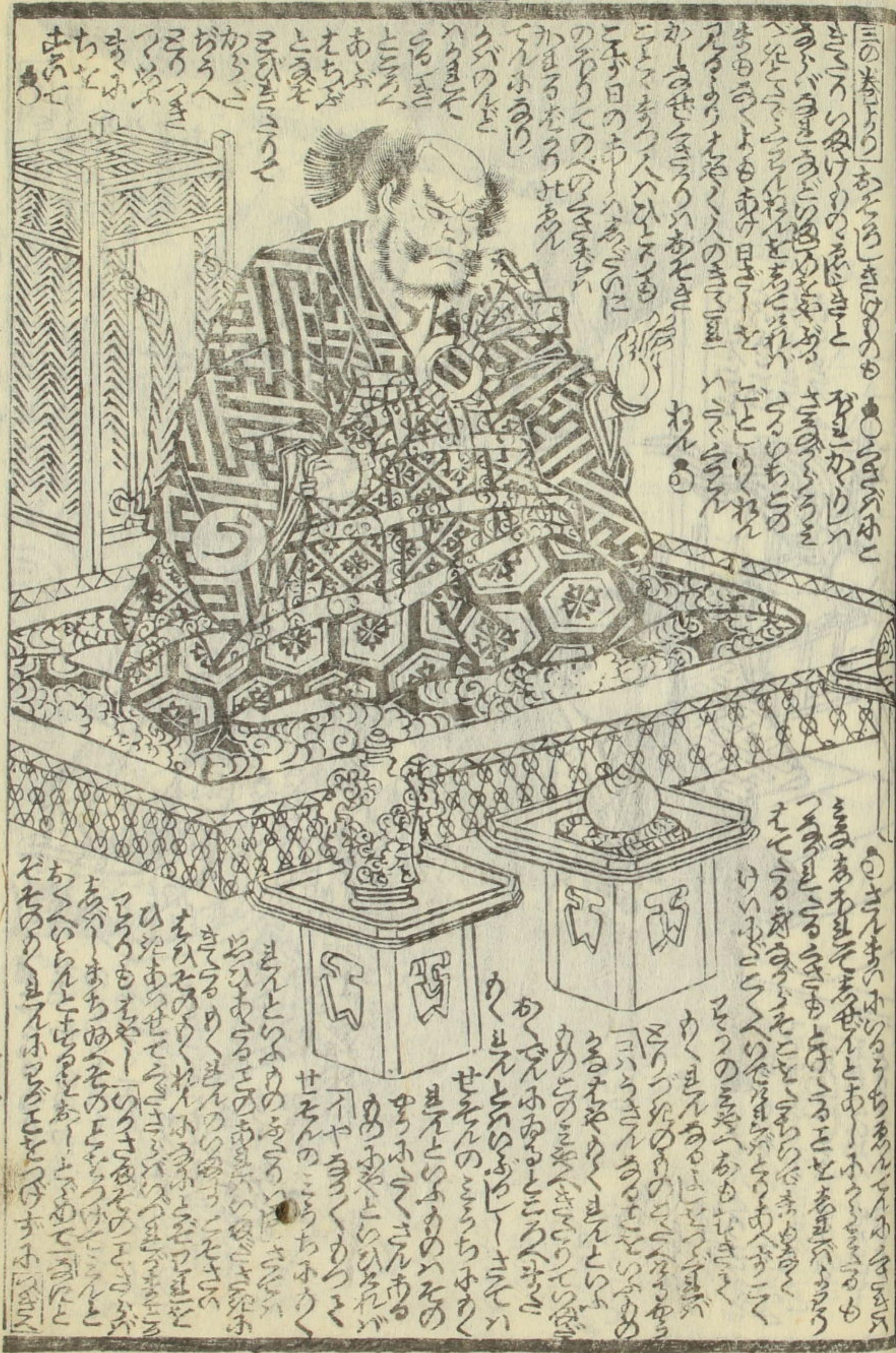
あむ... 鐘建立



あむ... 鐘建立

あむ... 鐘建立







新編 義経 四十九



あはれまの  
さき  
あはれまの  
さき



作 文 屋 四 十 九

あはれまの  
さき  
あはれまの  
さき  
あはれまの  
さき



傳文庫四十九

十一

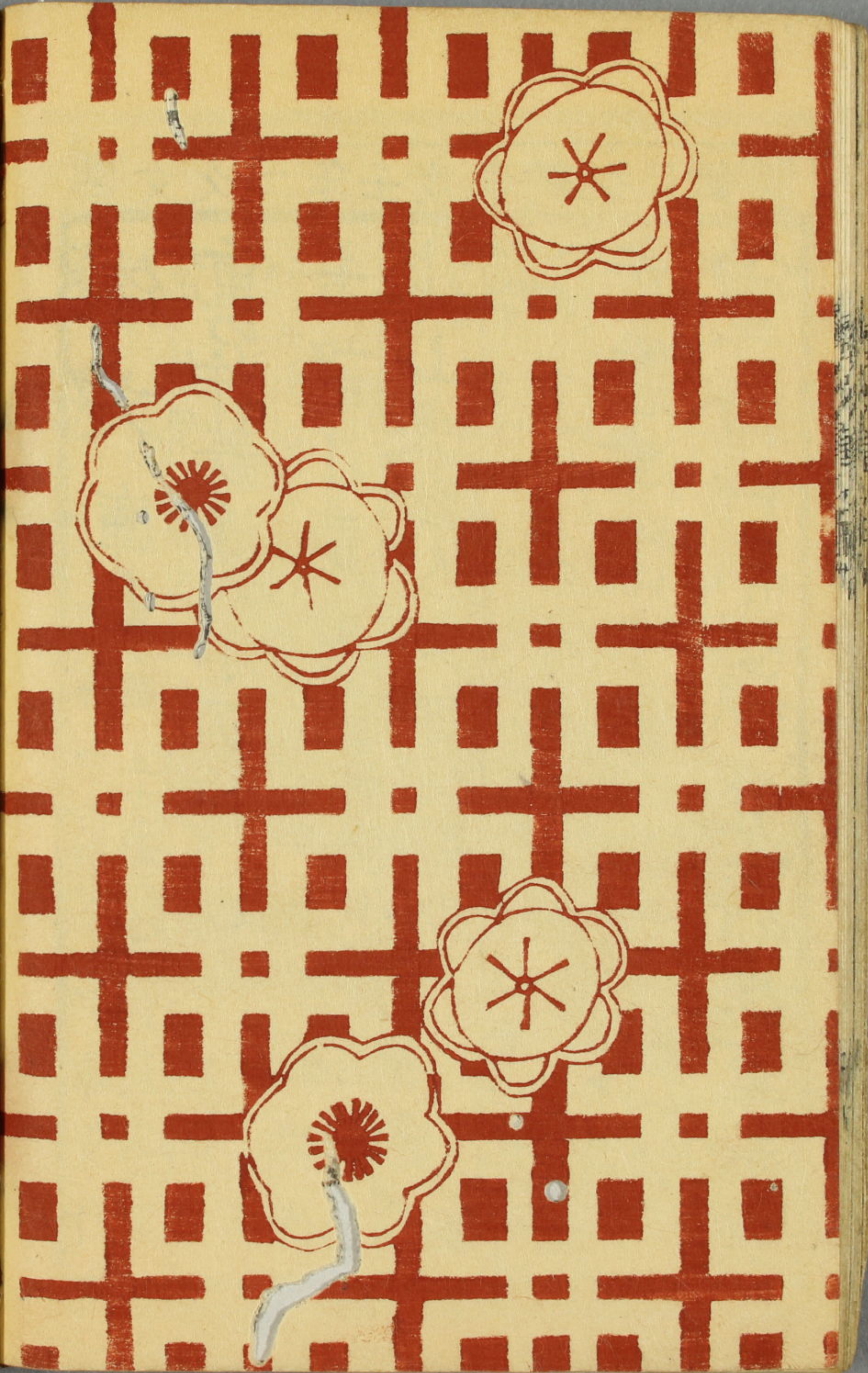


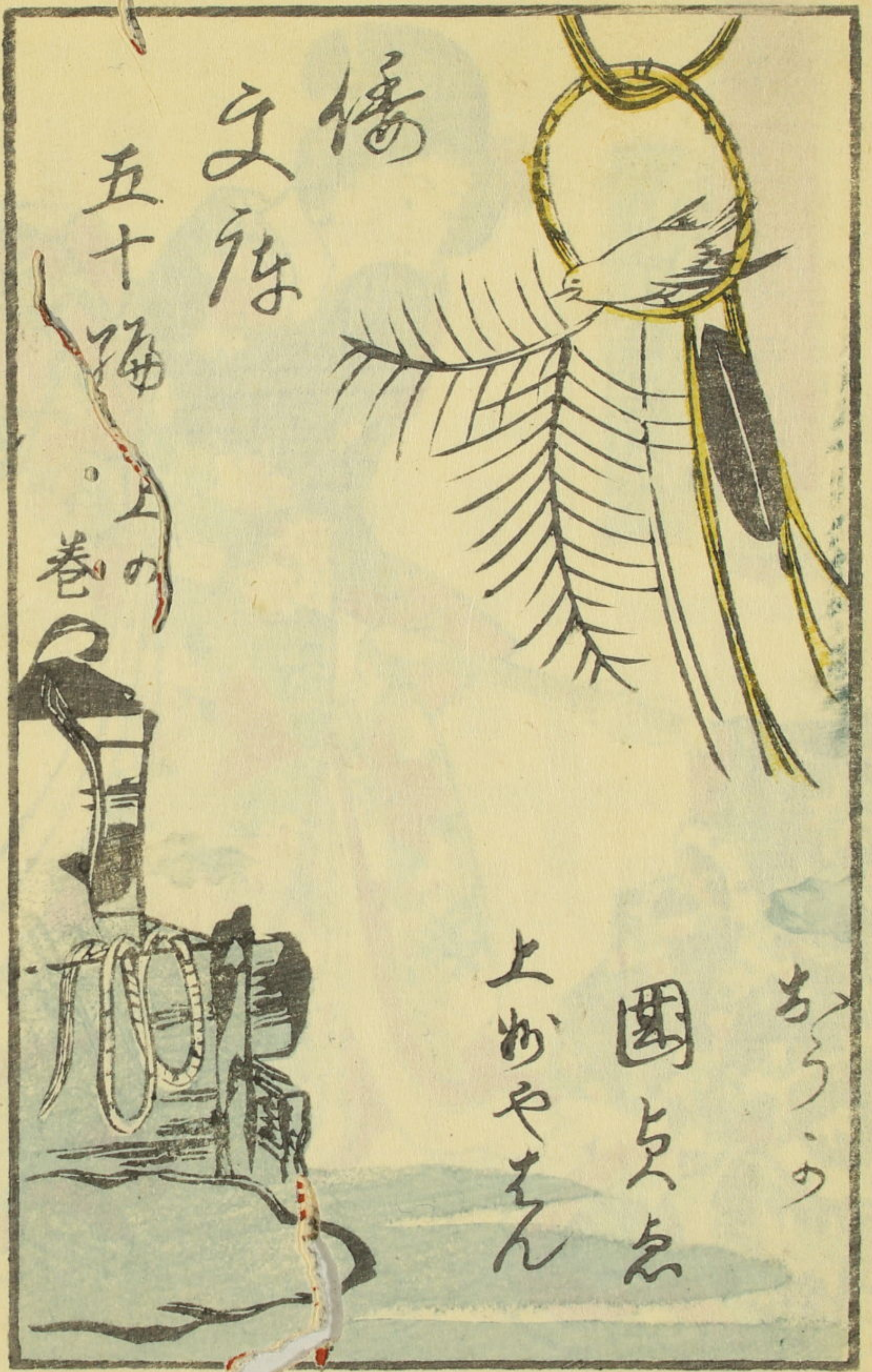




倭文庫五拾編

万亭應賀作





倭文傳

五十編

卷

あうの

園とん

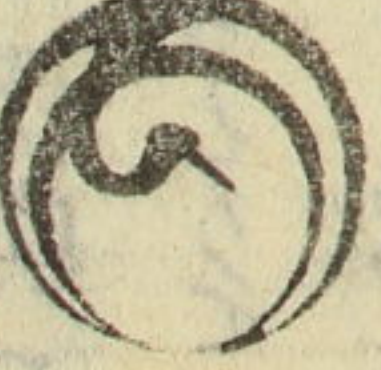
上州やもん

釋迦八相倭文庫五十編叙  
 夫々雲霧の文とつらめく富士山と張包小まるとも諸經の説  
 と銘細小傳記のつらめく富士山と張包小まるとも諸經の説  
 兩人と一人は兼させく修迦羅と玉盗人過去の債の一説も長  
 瓜林士の儲役扱善愛女の兩人有二人の修迦の娘もて三月六通  
 善女あるを此巻の是とす一人の波斯匿王の綵女あり朝暮  
 鸞鏡に向ひ鳳釵と取く婉婉と旨とをれぬも堅貪心の重荷小  
 小附と瑠璃太子の母小擬ふ就中目蓮が天の美祿は二日酔の  
 竜と伏せし沙渴陀の傳も二雁鳥三加子下手の談義我も  
 初ゆめの福壽草紙と祝して見えぬとす

文久二戌春



万亭應心加貝誌



倭文庫五十



○むら

後世長士

太子と産あし時  
遊戯の道ふて

○だのあんの  
子

後世  
須達長者

百縁經  
第四の說  
世尊



○が  
の太子

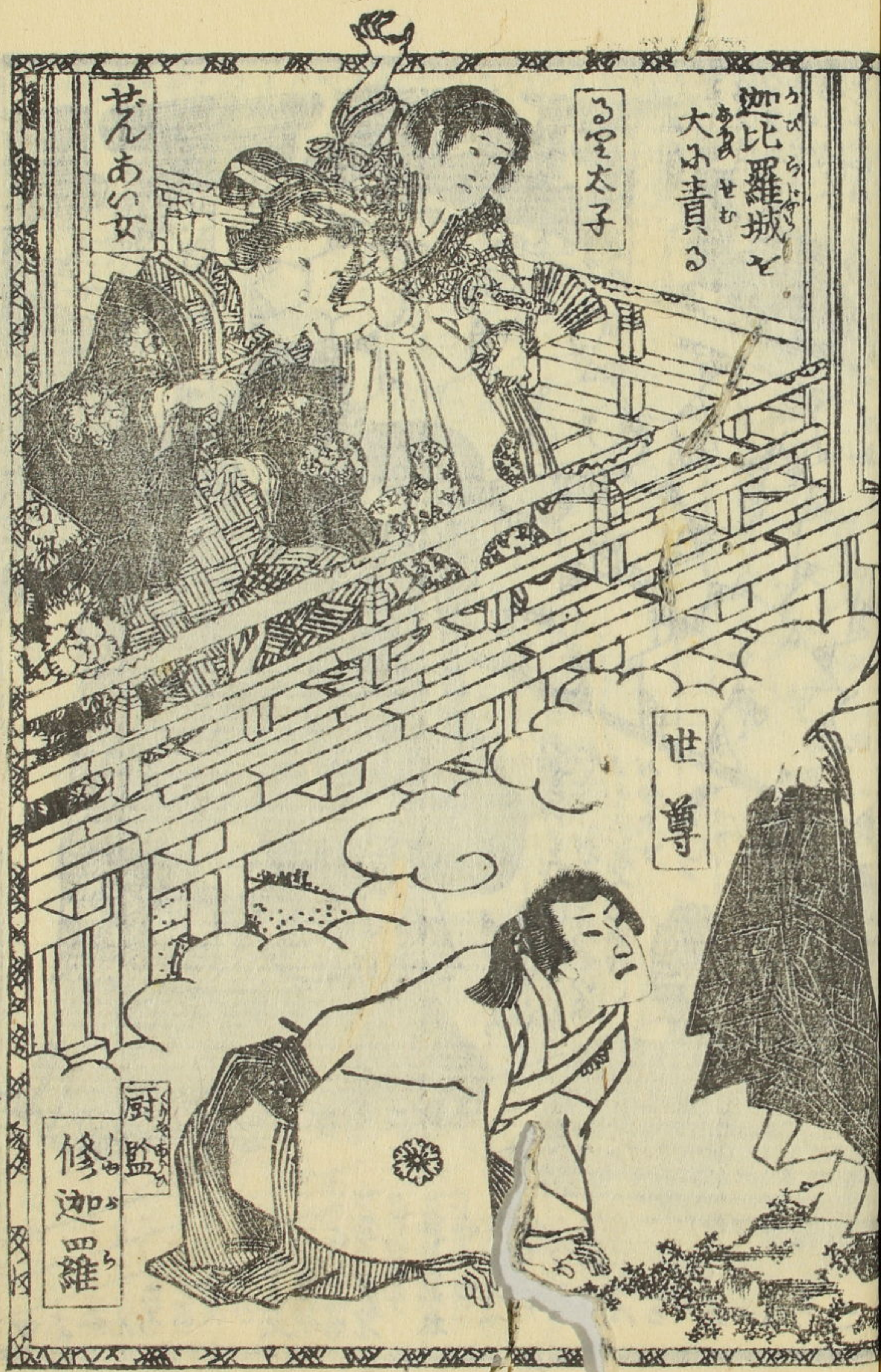
後世  
秋尊

過去波羅奈  
國梵摩王の

捕相の子婆羅  
門か五百金の  
樗蒲博ふ  
負て債ま系る  
責と免ら  
あめく

○若彼不與ハ  
我ららて

約せしめ  
今世その  
難と  
んぬふ



せんあいの女

るを太子

加比羅城を  
大い責む

世尊

厨監  
修迦羅

樓波羅五十一



未曾有經の説  
波斯國王の王妃  
末利夫人  
妄語飲酒  
の戒と曰  
玉盗人  
修迦羅を救ふ  
同王の妹  
瑠璃太子の腹  
善愛が堅負  
小僧佛法  
と説く此瑠璃太子  
成長し父兄と言

まろきん  
のふらん

お山のあふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ

あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



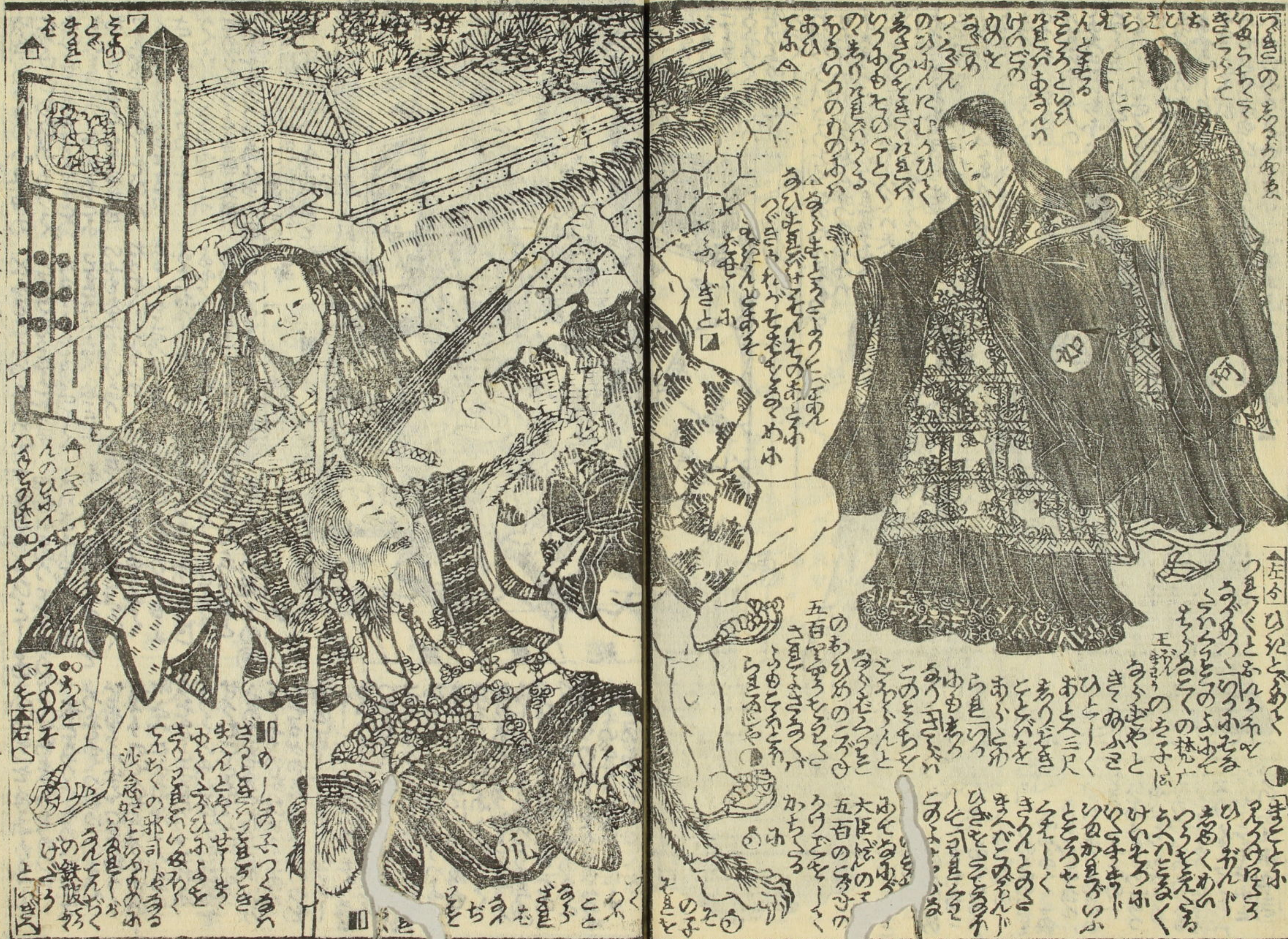
あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



あふちぬまひうまひうまひうまひうまひ



侍 文 庫 五

この  
とく  
を

のひ  
のひ  
のひ

の  
の  
の

五

この  
とく  
を  
の  
の  
の

の  
の  
の

この  
とく  
を  
の  
の  
の

の  
の  
の

の  
の  
の

この  
とく  
を  
の  
の  
の

六









つぎ  
 うつろ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

左 とうきくろくひん  
 とうきくろくひん  
 こころのひんぎ  
 まちのひんぎ  
 りんぎ

あま  
 この  
 ゆく  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ



あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ

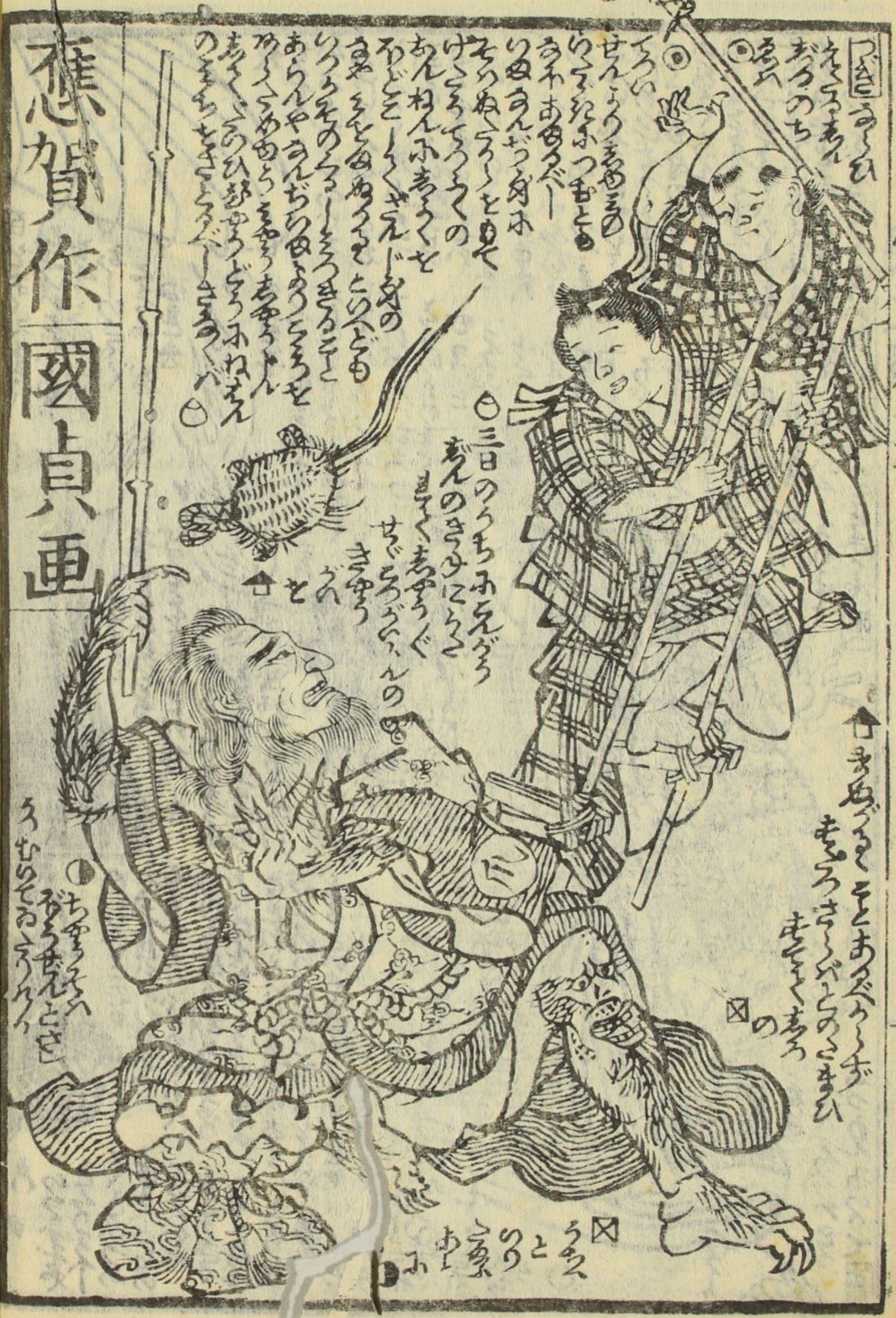
あま  
 こころ  
 まま  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ  
 りんぎ



伝文唐五

九





應賀作國貞画

せんりやまの  
りてはふつ香と  
あやあや  
りぬんがうめ  
そのぬんがうめ  
けいこうとく  
あんねんふ  
あまそとぬ  
りうそ  
あらんやん  
あまそとぬ  
あまそとぬ  
あまそとぬ

三日のうち  
あまそとぬ  
あまそとぬ  
あまそとぬ  
あまそとぬ

あまそとぬ  
あまそとぬ  
あまそとぬ  
あまそとぬ  
あまそとぬ

獨娘奪八人出世双六  
大錦 万亭應賀作  
一陽奔豊國画  
惺と狂齊画

樂屋壽古六  
三美若強  
老之六者  
化粧の場  
赤極面白  
き双六之

男女 役替壽語六  
同作  
振分 同作  
武家奉公出世双六  
同作  
豊國画

奥奉公出世双六  
同作  
同画  
子寶延命袋  
同作  
同画  
紅摺全一冊

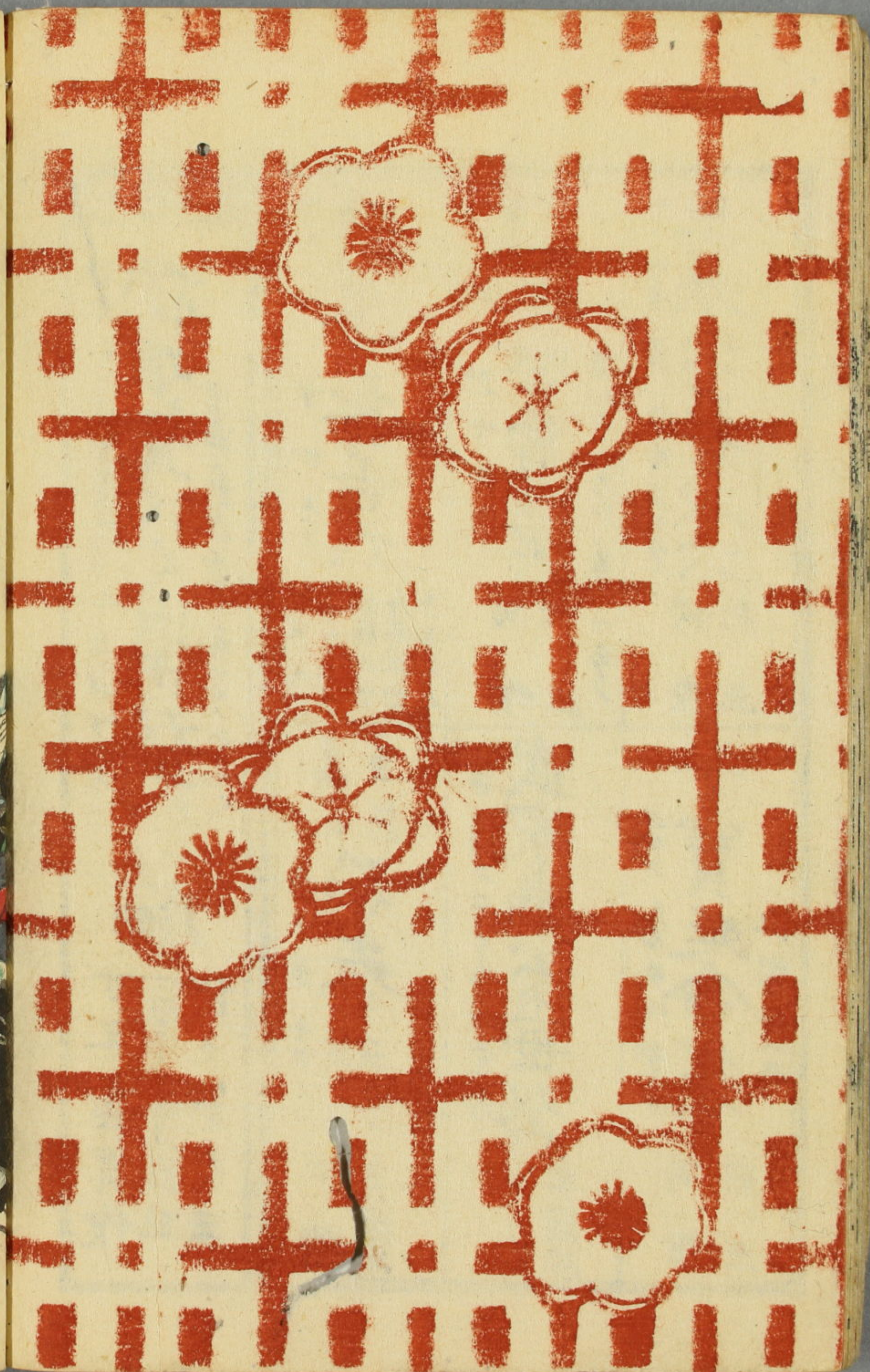
歌川國貞画

外題曲友団全



金重上州屋

下





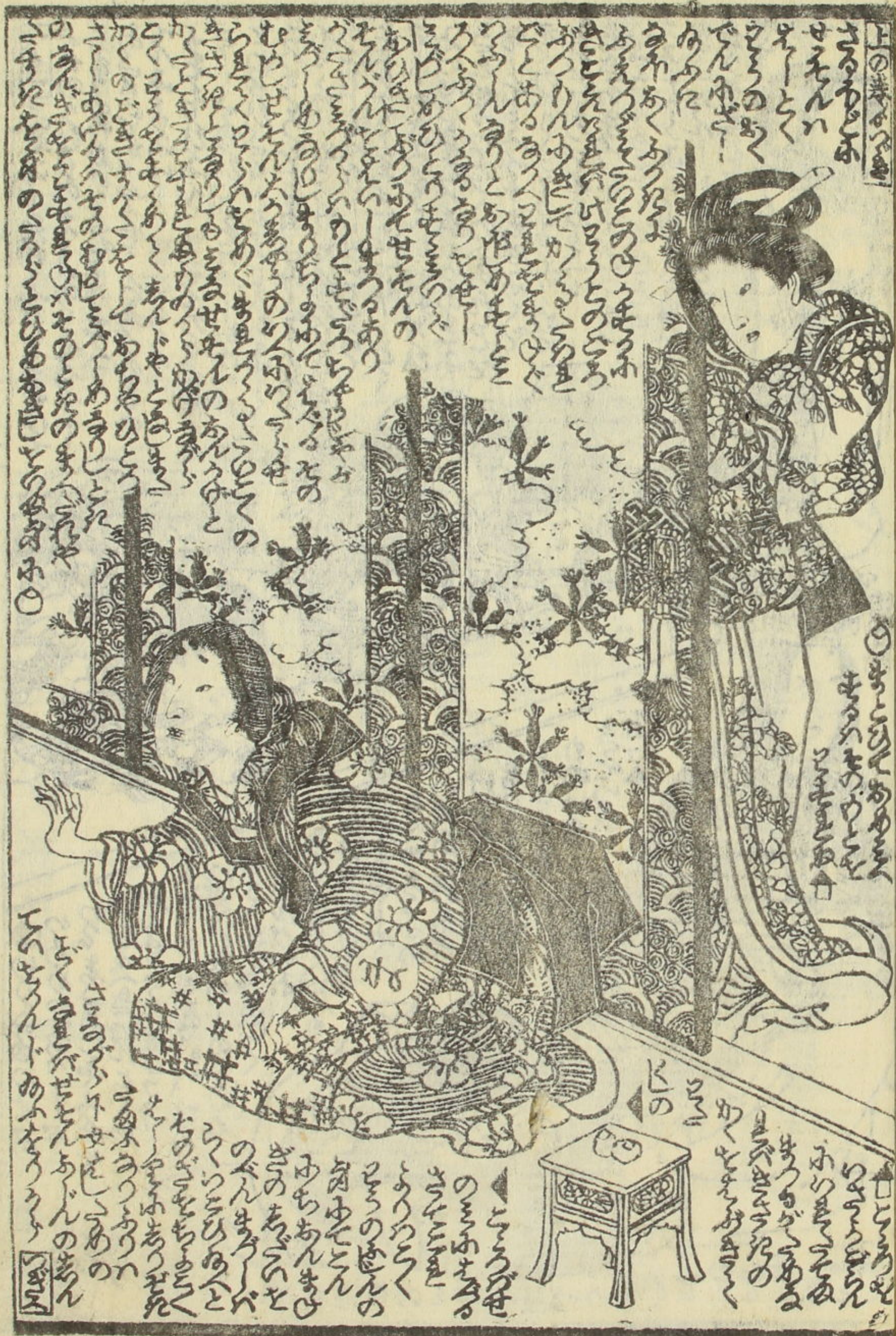
矢中

らん

上座  
板

五十八元  
下

新川園貞画

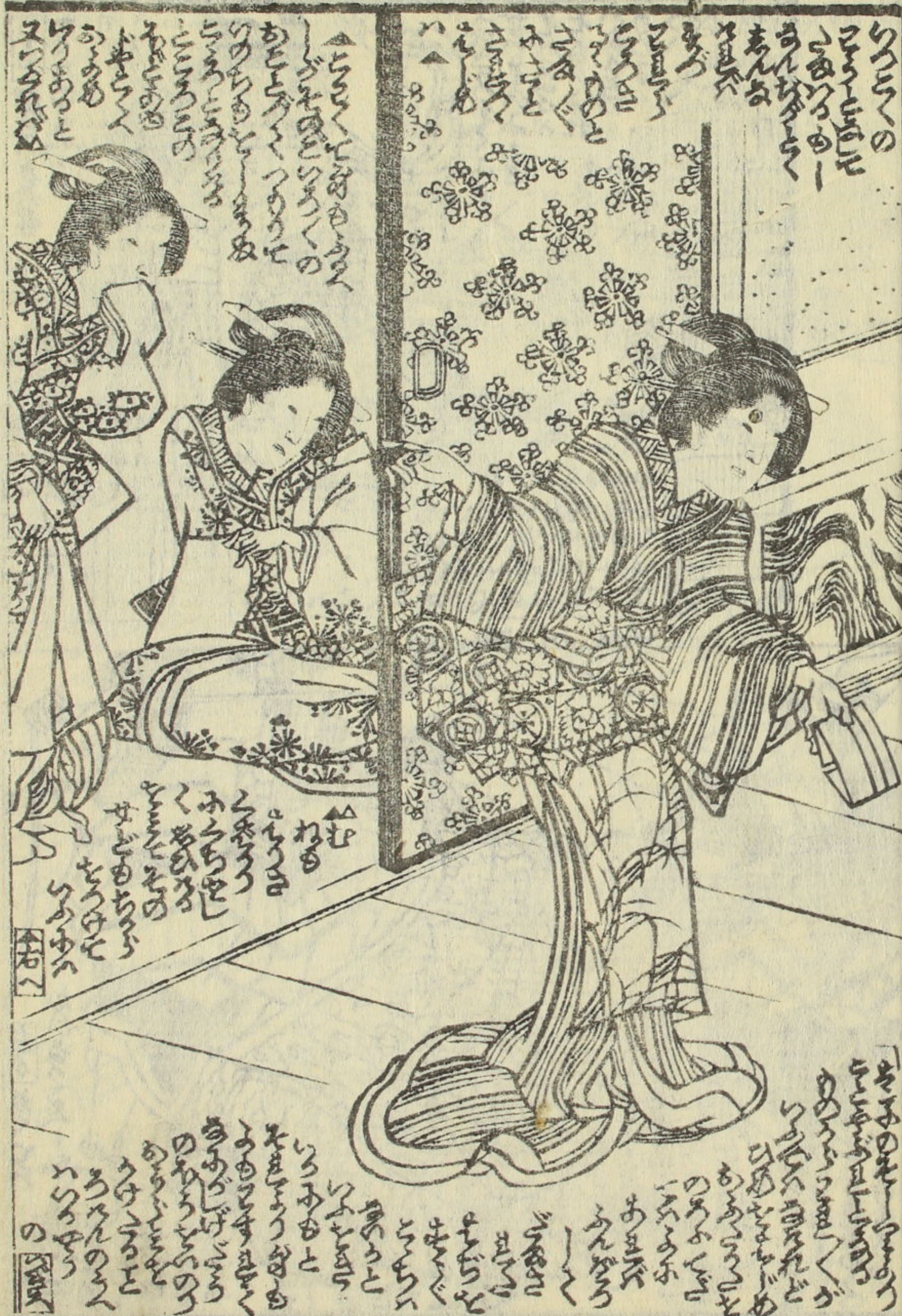


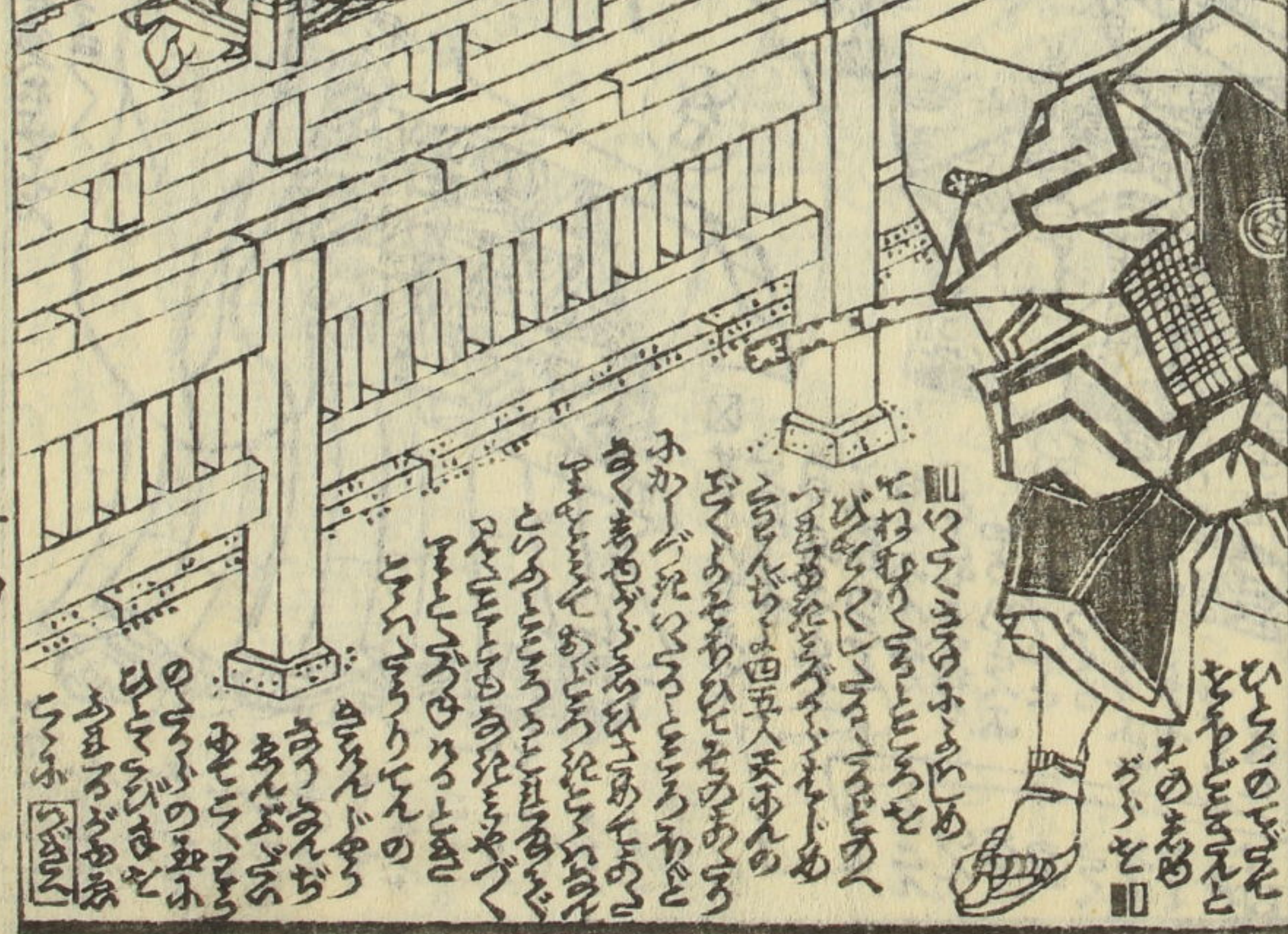
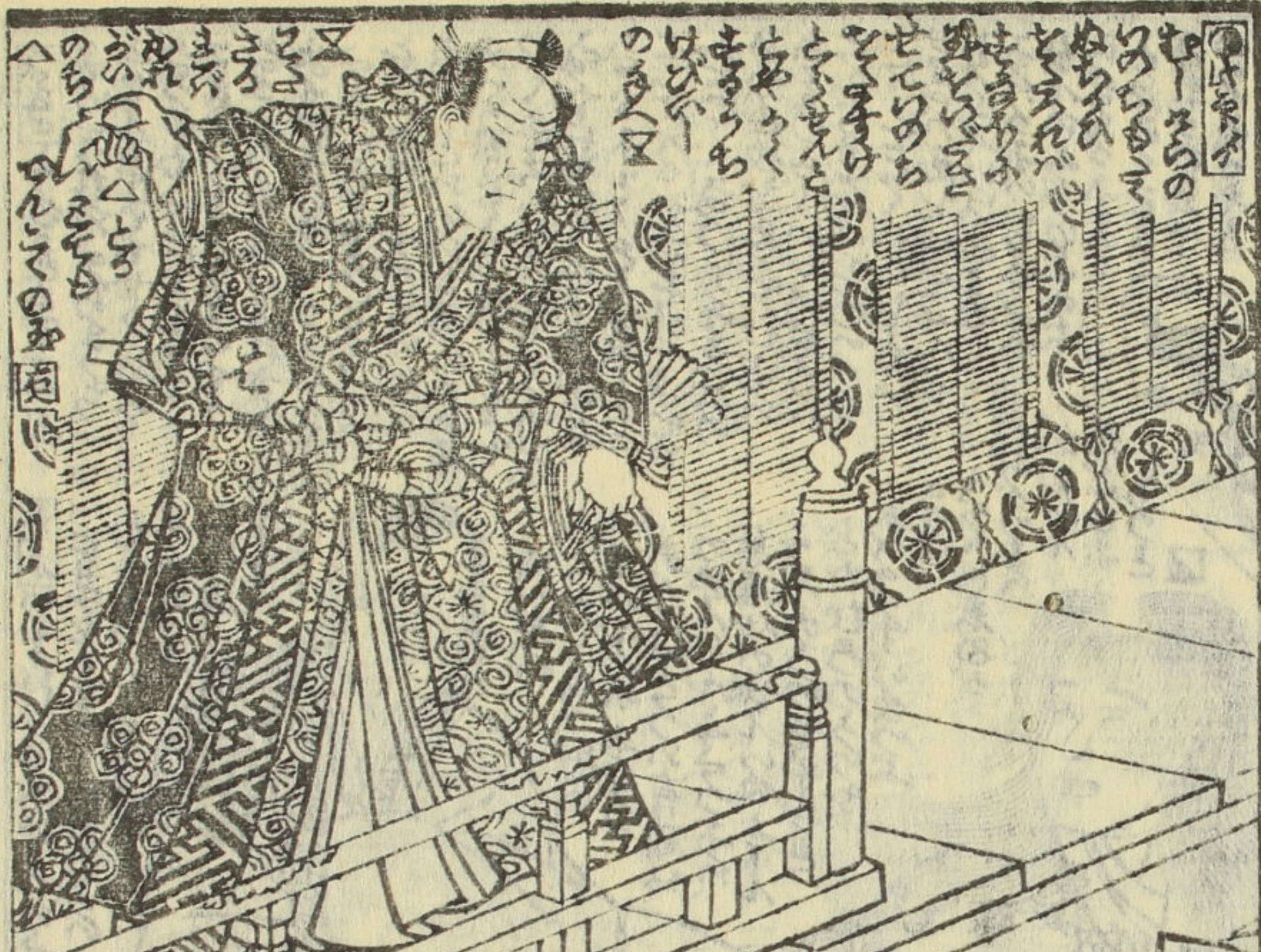
上座  
板  
五十八元  
下  
新川園貞画

新川園貞画



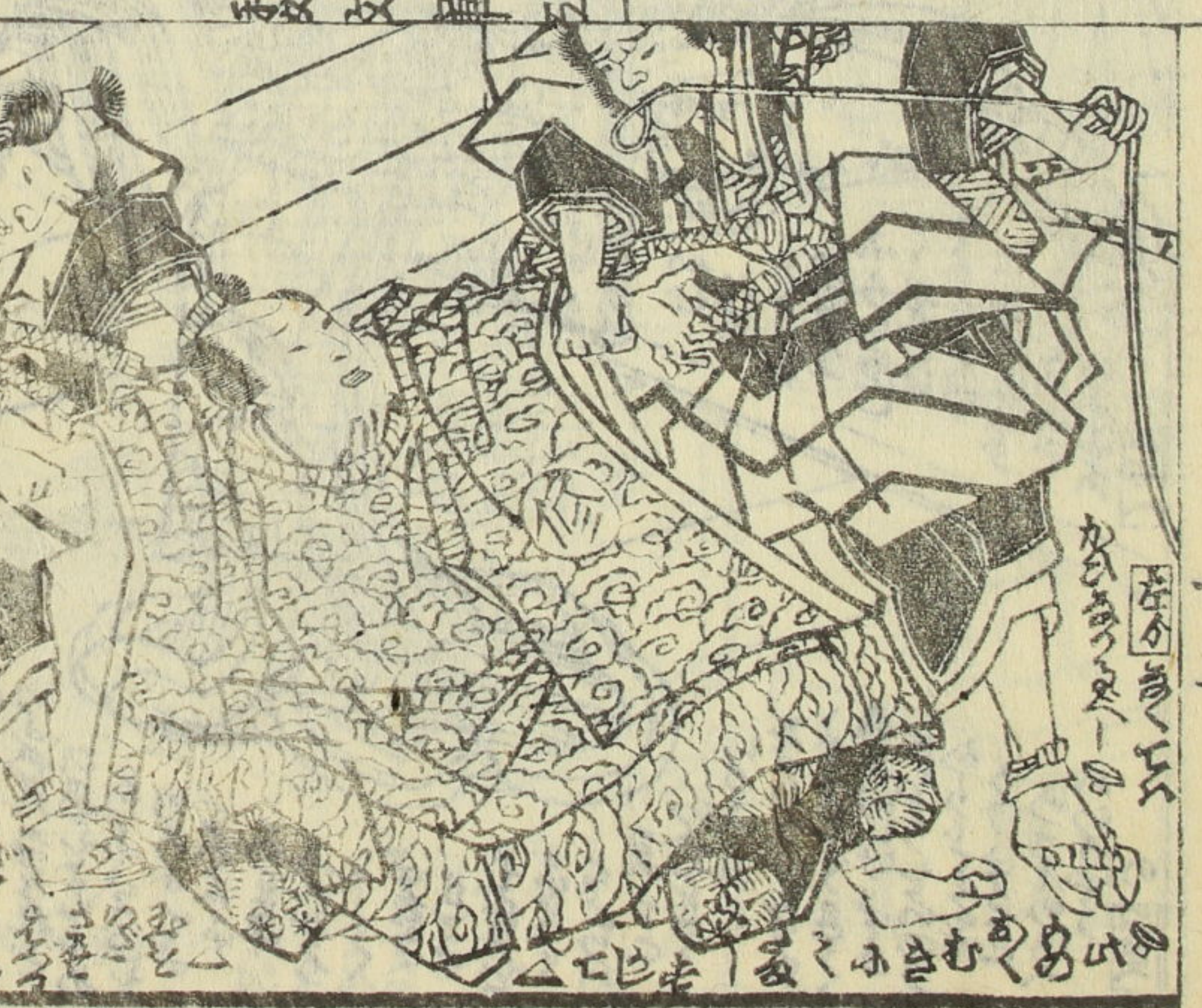
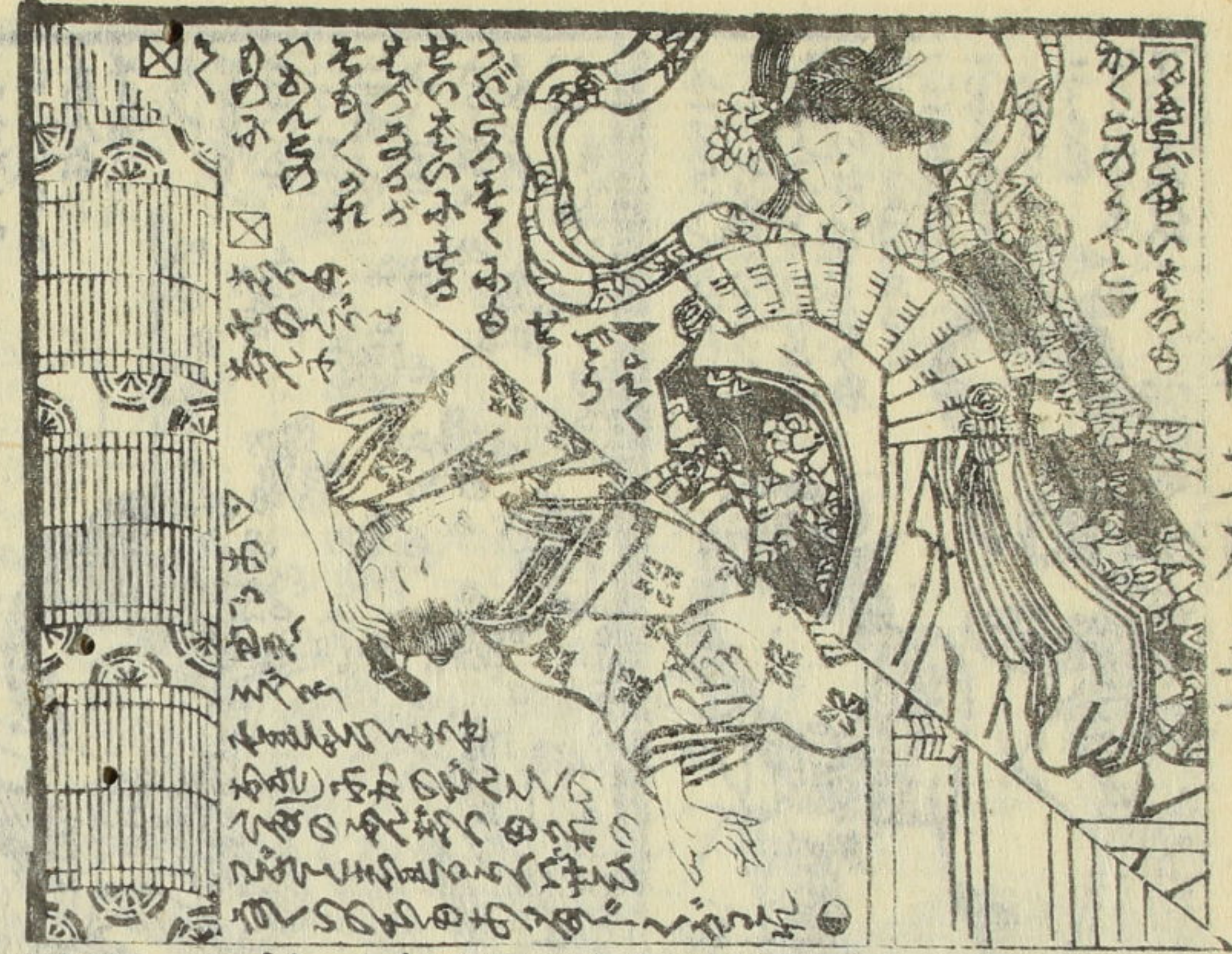






源氏物語  
第...卷  
第...回  
...

...



源氏物語  
第...卷  
第...回  
...

...

Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items, located at the top of the right page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the right page, above the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located below the illustration on the right page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the left page, above the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located below the illustration on the left page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.











御覧の如くは...  
御覧の如くは...  
御覧の如くは...

如

九

御覧の如くは...  
御覧の如くは...  
御覧の如くは...



御覧の如くは...  
御覧の如くは...  
御覧の如くは...

御覧の如くは...  
御覧の如くは...  
御覧の如くは...

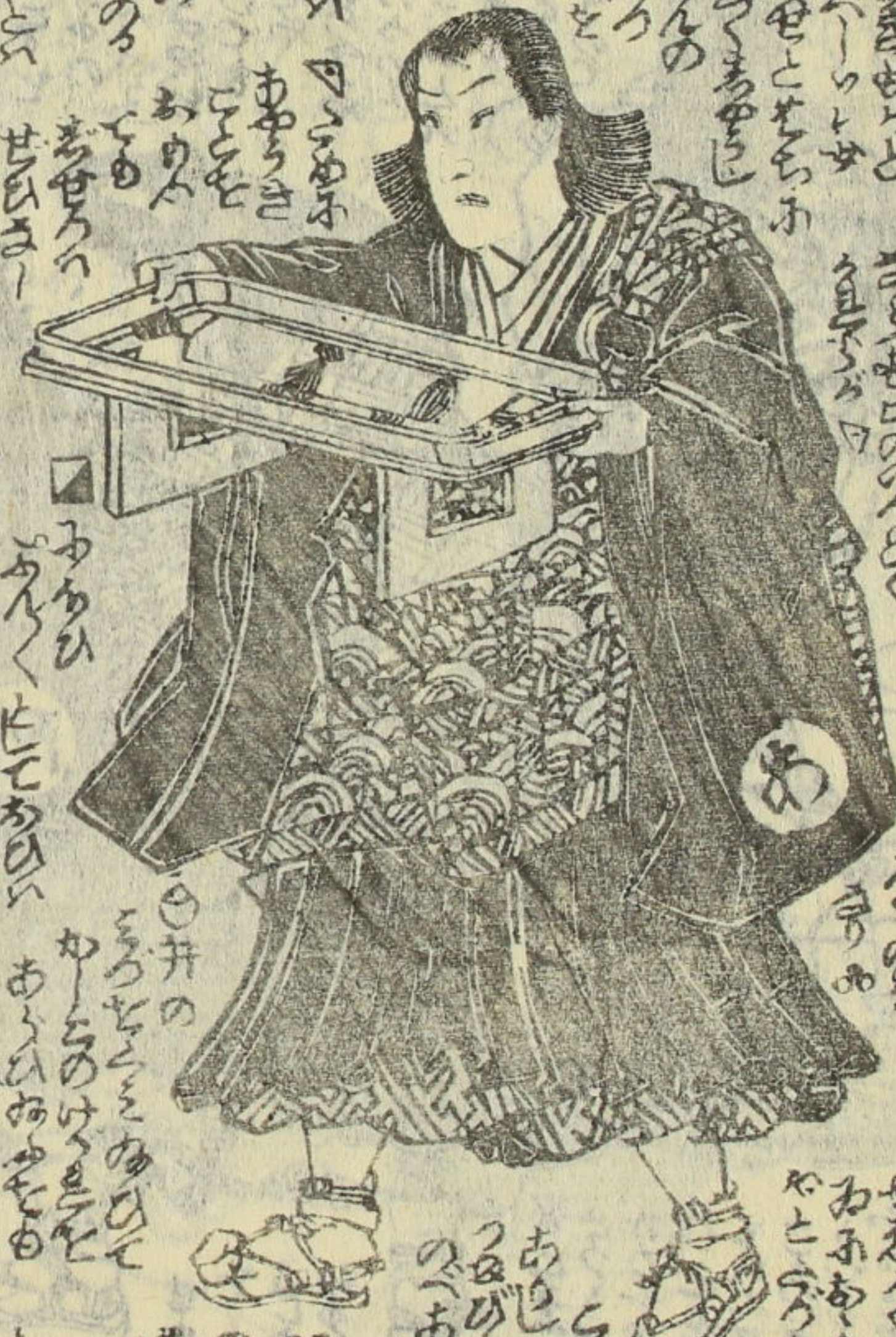


船中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて...

舟の... 舟に... 舟中... 舟に... 舟中... 舟に... 舟中... 舟に...

舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて...

舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて...



舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて...

舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて... 舟中にて... 舟に乗りて...



元治二年乙丑春新出版目録

倭文庫

五十二編 万亭應賀作  
五十三編 五十四編 一壽齋國貞画

新編朝日譚

初編 柳亭種彦作  
五編 一惠齋芳幾画

重井菱染別小紋

鳥永春水作  
八編 大尾  
歌川豊國画

沙路のみやの

十返舎一九作  
五編 大尾  
同画

常磐津懐中本

初編 二編 小なまき書付  
三編 四編 あり板上下きり

重繪草紙本類問屋

人形町 上州屋重藏板

万亭應賀作 歌川國貞畫





倭文

庫

五拾編

應賀佐

國貞畫



錦堂棹